

新型コロナウイルスに 入居者・利用者を感染させない 感染抑止に冷静な対応続く



第八十一号 社会福祉法人 富士見会

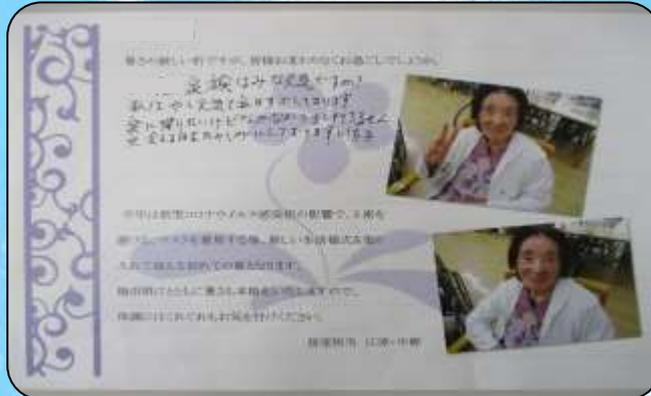
ふじみだより

令和二年 七月 一日

ふじみのさとはでは、感染予防に配慮した上で、施設北側のガラス越しの面会をして頂きました。「ガラス越しの面会もうれしいよ。本と靴下、写真を持ってきたよ!」



サンホームふじみは、面会制限が続く中で、介護職員が入居者の近況報告を、写真を添えてご家族へ届けました。



春以来見えない敵、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当施設では日々言葉に表せないほどの緊張感と隣り合わせで、入居者・利用者を守るために取り組んでおります。

更に、5月からは携帯電話や施設のパソコンを使用した、テレビ電話による面会を開始しています。画面越しに久しぶりに会うご家族と会話され喜ばれていました。「おばあちゃん元気かい?」



感染防止のため、ティサービスセンタ―は、送迎車両を朝夕2回、消毒を行います。



- 目次
- P2 令和元年度実績報告
 - P3 令和元年度決算報告
包括北部だより
文芸作品紹介
 - P4 スタンディングリハビリ実績報告
 - P5 介護事故・苦情報告
上毛新聞「愛の募金」
職員紹介
 - P6 温かい心に感謝
お知らせ
編集後記

ホームページアドレス <https://fujimi-kai.or.jp>

◇◇◇ 令和元年度社会福祉法人富士見会事業実績報告書(概要) ◇◇◇

高齢者の笑顔・地域の宝に頑張りました。

1 法人運営

富士見会理念【笑顔と温もり】 富士見会訓【お世話をさせていただきます。】

- ① 会議の開催 理事会→6回 評議員会→4回 監査会→1回
- ② 役員の数 理事→7人 監事→2人 評議員→10人
- ③ 職員数 常勤→75人 非常勤→12人 計87人
- ④ 苦情解決第三者委員会→2回開催
 - ・苦情件数→0件
 - ・意見・要望等で寄せられた件数→125件
- ⑤ 介護事故統計→14件(内訳 出血7件 打撲2件 痛み1件 無断外出1件 誤薬3件)
- ⑥ 施設内職員研修会 述べ11回開催 延べ出席者数336人
- ⑦ 消防避難訓練→2回実施 消防設備点検→2回実施
- ⑧ 広報「ふじみだより」年3回発行(No.78号～80号) ホームページ 随時更新
- ⑨ 地域における公益的な取組
 - ・「知ってもらおう介護の仕事」事業→前橋市立富士見中学校1年生
 - ・青少年と未来をつなぐ職業教室→ 同 上
 - ・サンサンふじみカフェ→延べ11回開催(延べ利用者190人、ボランティア146人、従事者70人)
 - ・なんでも福祉相談事業→相談1件

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

2 施設運営

施設目標『私たちは、利用者・地域から期待される専門性の高いケアを目指します。』

○ 拠点区分 特別養護老人ホームサンホームふじみ

(サービス区分)

- ① 特別養護老人ホームサンホームふじみ(多床室定員50人)
3月末入居者数 49人 平均介護度 3.94 入退去者数 18人 平均年齢88.29歳
- ② 特別養護老人ホームサンホームふじみ「短期入所」(定員10人)
述べ利用者数 2,425人 平均介護度 2.2 平均利用者数 6.7人/日
- ③ ふじみ第1デイサービスセンター(定員25人)
開所日数 310日 年間利用者数 5,098人 平均利用者数16.4人/日 平均年齢 87.72歳
- ④ ふじみ第2デイサービスセンター(定員30人)
開所日数 310日 年間利用者数 6,455人 平均利用者数20.81人/日 平均年齢 88.61歳
- ⑤ ふじみ居宅介護支援センター
開所日数 310日 年間相談件数 4,915件
(内訳 電話2,095件 来所113件 訪問2,478件 その他229件)
- ⑥ 前橋市地域包括支援センター北部
開所日数 310日 年間相談件数 1,600件
(内訳 電話1,147件 来所199件 訪問161件 その他93件)
主な業務 権利擁護業務 ケアマネ支援 介護予防支援 介護予防ケアマネジメント

○ 拠点区分 地域密着型特別養護老人ホームふじみのさと

(サービス区分)

- ① 地域密着型特別養護老人ホームふじみのさと
3月末入居者数 20人 平均介護度 3.80 入退去者数 6人 平均年齢90.70歳

— — — 詳しくは、富士見会HPをご覧ください。 — —



令和元年度 資金収支決算報告書(財産目録)

1 資産の部	1,033,998,257円	
2 負債の部	96,201,905円	
3 差引純財産	937,796,352円	※社会福祉充実残額△95,880,000円

資産の部		負債の部	
内訳	金額	内訳	金額
現金貯金	286,268,843円	事業未払金	16,588,022円
未収金	78,699,765円	設備資金借入金	41,961,000円
前払金	233,055円	預り金	1,307,636円
土地	129,848,560円	リース債務	4,629,313円
建物	405,606,526円	賞与引当金	23,830,000円
定期預金	1,000,000円	退職給与引当金	7,885,934円
その他の固定資産	132,341,508円		
合計	1,033,998,257円	合計	96,201,905円

令和元年度事業実績報告
収支決算報告の認定経過

- ・監査会 5月26日(火)
- ・理事会 6月9日(火)
- ・定時評議員会 6月17日(水)

包括北部だより(No.3)

一人暮らし高齢者の
安否を電話で確認

芳賀・富士見地区をエリアとして高齢者の総合相談活動を業務としている「前橋地域包括支援センター北部(包括北部)」では、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、安否確認を電話で行っています。

これは、厚生労働省から、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が発出され、人権への配慮等として、外出を自粛する方々の心のケアや、自宅でのDVや虐待の発生防止に取り組みとともに、在宅の一人暮らしの高齢者・要援護者に見守り等を行い、適切に支援することを目指しています。

これを踏まえ、当包括北部でも一人暮らし高齢者に対する見守り

の一端を担うため、85歳以上で介護サービス等の利用がない方を対象に、7人の職員が手分けして電話連絡で安否を確認しています。

その結果、ほとんどの方から元気な声が聞かれ、安心致しました。

緊急事態宣言は解除されましたが、状況がすぐに好転するとは思われない中で、高齢者の方々が、外出を控え、自宅等で長い時間を過ごされることが想定されます。

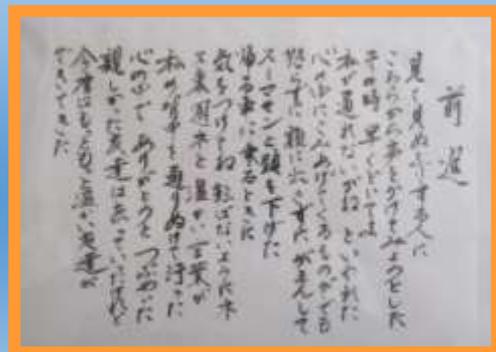
そのような一人暮らしの高齢者の方々に対して、電話連絡等により、継続的に心身の状況や生活の実態を把握し、適切な支援につなげていければと考えています。

これからも、民生・児童委員、地域住民皆様とも連携しながら、新型コロナウイルスの収束を願いつつ、共に変わらない日々を高齢者がお過ごしいただけるよう、必要な見守りを実施していきます。

(社会福祉士 後藤記)

入居者・利用者様の
文芸作品紹介

ふじみ第1デイ利用者様



ショートステイ利用者様

ふじみ第2デイ利用者様



自宅でも自立した生活が送れるようお手伝い

—半年間の実績を報告します—

ふじみ第1・第2デイサービスセンター



ふじみデイサービスセンターでは、立ったり座ったりする「スタンディンググリハビリテーション」に取り組み始めて1年が経ちました。ご利用者の方々は、毎日この運動を意欲的に取り組まれています。「脚は、本当に大事なんだよね」「家でも200回やっているよ」「この運動を始めたらずくのが早くなった」「立ち上がることが楽に出来るようになった」「杖を使わなくても歩けるようになった」「姿勢が良くなった」等、ご利用者の沢山の声が聞かれています。

以下、令和元年11月～令和2年4月までの運動機能向上加算を算定したご利用者22名の平均値を示します。||別表

測定項目	令和元年11月	令和2年4月
握力(右)	16.4kg	<u>16.8kg(向上・改善)↑</u>
握力(左)	14.8kg	<u>15.6kg(向上・改善)↑</u>
3m移動能力	15.5秒	<u>10.21秒(向上・改善)↑</u>
5m最大歩行	6.58秒	<u>4.42秒(向上・改善)↑</u>
開眼片足立ち(支持脚)右	5.58秒	<u>6.55秒(向上・改善)↑</u>
開眼片足立ち(支持脚)左	3.26秒	<u>5.63秒(向上・改善)↑</u>

スタンディンググリハビリテーションを開始し、**半年で、両手・両足の筋力に関するすべての項目で改善が認められました。**

特に歩行スピードは、殆どこの

利用者で改善がみられています。**2倍以上、早く歩くことが出来るようになった方も**いらっしゃいます。片足立ちについては、利き脚ではない方にも、筋力がついていくことがわかります。

自身の力で両足を同時に鍛えられ、**バランス感覚も良くなる事は、転倒防止にもつながります。**「ここに来て、運動をする」という生活習慣が、ご利用者の間に定着しているように思います。

新型コロナウイルス感染症「COVID-19」に係る臨時的なサービス提供について

最近では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、自宅でご過ごされていた第1デイ1名、第2デイ1名の方へ通所介護サービスの代替え手段として、居宅訪問を行いました。運動能力が低下しないように日頃の様子を伺い、血圧測定などの健康チェックや屋外歩行の練習、料理や洗濯、お掃除の練習、自宅でスタンディンググリハビリなど、充実した時間を、お過ごし頂けたかと思っております。

まとめ・・・

運動をすることで、認知症を予防するということはよく知られています。筋力が衰えると、動作が遅く、時間がかかり、身体を動かすことが億劫になって、何もしななくなります。何もなくなると筋から脳への感覚神経の刺激が途絶え、脳が衰えていきます。認知症になる方は、「食欲が減り」「身体を動かさない」「人との交流を嫌がる」人が多いと言われています。

ふじみデイサービスでは、「スタンディンググリハビリテーション」を通して、**下肢筋力の維持・向上、そして認知症予防**を行っています。一人ではなかなか継続して行うことは難しいと思いますが、当デイサービスでは、**仲間と一緒に賑やかに楽しく運動**を行っており、あつという間に、午前100回、午後100回、計200回の運動を皆さん出来てしまいます。今後も、ご本人に合わせた運動強度をみながら、在宅での自立した生活を送れるよう支援していきたいと思います。お気軽に見学・お問い合わせください。

(作業療法士 峯浦記)

令和スタートの年

介護事故統計報告

施設全体で14件発生

去る4月8日(水)、月例介護事故防止委員会にて、昨年度1年間に当施設内で発生した介護事故についての統計報告がありましたので、お知らせ致します。

富士見会全体としては、事故や感染症等の総数は平成30年度の23件から14件となり、9件減少しました。内訳は、出血7件、打撲2件、痛み1件、無断外出1件、誤薬3件でした。

また、一昨年度にはインフルエンザ感染者も出てしまいましたが、令和元年度は前年の教訓も生かして流行期早々から対策を取り、インフルエンザの感染者が0人でした。これは、ご家族の皆様にも面会制限等にご理解とご協力を頂けたお陰です。

(介護事故防止委員会 坂部記)

苦情は0件の報告

去る6月12日(金)、当施設内会議室で、令和2年度第1回苦情解決第3者委員会(総括責任者理事長)が開催され、前年度下半期の状況が各事業所の担当者より説明されました。加えて、日々の業務の中でご利用者やご家族から寄せられる意見・要望がまとめられた「意見ノート」に記載の67件についても詳細に報告されました。

出席した第3者委員二人からは上半期に続き、下半期についても施設への苦情は認められないことを確認しましたとの発言があり、令和元年度の苦情は0件であったことが了承されました。

富士見会では、令和2年度も利用者目線で表面に現れにくい声を吸い上げ、介護保険事業所としてサービスや信頼の向上が一層図れるものとなるよう努めてまいります。

(実務責任者 木暮記)

災害時用食糧

備蓄倉庫完成

上毛新聞「愛の募金」活用

本年2月末当施設内に災害時用食糧備蓄倉庫が完成しました。写真

これは、令和元年以上毛新聞厚生福祉事業団より寄せられた、県民の浄財「愛の募金」より50万円の贈呈を頂き整備したもので、他に防災用テント2張り、非常用発電機1台等を購入しました。

倉庫内には、災害時に3日分の食糧が整然と並べられ、各種災害から入居者・利用者の安全・安心が一層向上しました。

当施設としては、これからも地域の皆様のご協力を頂きながら非常災害訓練に努め、災害に対して迅速且つ的確な対応が取れるよう整備した防災物品を有効活用してまいります。

(防火管理者 榊澤記)



◎新しい職員紹介

- ①氏名 ②配属先 ③趣味 ④抱負



①榊澤 光芳

②総務課

③旅行

④地域に根付いた福祉・介護を心掛け努めて参ります。



①北野 恵子

②ふじみのさと(ひだまり)

③油絵

④入居者様一人ひとりに寄り添った介護を行いたいと思います。

温かい心に感謝

皆様の善意に心から

厚くお礼申し上げます。

- 福本トヨ子様ご家族
紙パンツ 258枚
尿取りパッド 180枚
- 金子やす子様ご家族
尿取りパッド 177枚
- 奈良たけ様ご家族
紙パンツ 120枚
- 海老沼力子様ご家族
尿取りパッド 360枚
紙パンツ 104枚
- 紙おむつ 30枚
- 品川隆一様
里芋 33kg
- 原澤末江様ご家族
中古車椅子 4台
- 國松清一様
金1万円
- 関口ふみ糸様
金5千円
- 高山はる様ご家族
中古押し車 1台
尿取りパッド 19枚

- 阿久澤鶴古様ご家族
金1万円
- 大谷吉伸様
バラ2バケツ
- 狩野花枝様
紙おむつ 89枚
- 小保方すみ子様ご家族
紙おむつ 17枚
尿取りパッド 30枚
- 榊澤たつ様ご家族
きゆうり 5kg
- 関口梅野様ご家族
紙パンツ 38枚
- 尿取りパッド 45枚
- 安楽寺・本光寺様
金10万円
- 岩井秀子様ご家族
ズボン下 4枚
長袖シャツ 1枚
紙パンツ 22枚

お知らせ

◆特養納涼祭開催

- サンホームふじみ
8月23日(日)
- ふじみのさと
8月27日(木)

◆特養敬老会開催

- サンホームふじみ
9月15日(火)
- ふじみのさと
9月17日(木)

※いずれも入居者・職員のみで開催します。

ふじみだより

広報(HP) 委員紹介

令和2年度ふじみだよりの広報(HP)委員に、左記の職員が選任されました。1年間よろしくお願ひします。

(広報委員長)	永倉 佳美
ふじみ第1デイ	岩崎 至澄
(副広報委員長)	樺澤 光芳
総務課	大津 和也
同	狩野 亜里
サンホームふじみ	広井 夏生
同	樺澤 美鈴
ふじみのさと	関口 愛子
ふじみ第2デイ	居宅介護支援センター 高沢 飛鳥
地域包括支援センター 後藤 美祐紀	

編集後記

ふじみだより第八十一号の発行にあたり、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス流行の中でも、サンホームの前庭ではつつじやジャガイモなどの花が色とりどりに花を咲かせ心の安らぎとなっています。施設でも、感染防止対策をしっかり行っています。又、面会制限などご家族の方々のご協力も頂き、大変ご迷惑をお掛けしています。うとうとしい梅雨、夏の暑さ対策と新しい生活様式の中、感染症対策との両立を行いながら、お互いに健康管理に留意し乗り切っていくましよう。

(広報委員長 永倉記)

ふじみだより 第八十一号

発行日 令和二年 七月 一日
社会福祉法人 富士見会
発行人 星 野 好 孝
〒三七一〇一一五
前橋市富士見町小沢二〇七番地一
Tel 〇二七二二八八八二二一